



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6457 URL https://www.glory.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	38,077	△22.4	△972	—	△919	—	△1,555	—
2020年3月期第1四半期	49,076	1.7	3,171	83.8	2,738	55.5	1,545	125.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,796百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △699百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△25.73	—
2020年3月期第1四半期	25.59	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2021年3月期第1四半期 2,303百万円 (△64.3%) 2020年3月期第1四半期 6,450百万円 (36.8%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2021年3月期第1四半期 △612百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 2,508百万円 (59.2%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	308,104	177,797	57.2	2,914.10
2020年3月期	308,763	187,143	60.0	3,064.61

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 176,161百万円 2020年3月期 185,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	32.00	—	34.00	66.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2020年8月7日）公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	85,000	△21.7	△2,000	—	△2,000	—	△3,000	—	△49.64
通期	210,000	△6.3	6,000	△66.5	5,500	△64.9	2,500	△72.1	41.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年8月7日）公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

（参考）EBITDA 2021年3月期第2四半期 5,188百万円 2021年3月期（通期）20,613百万円
のれん償却前当期純利益 2021年3月期第2四半期 △878百万円 2021年3月期（通期）6,980百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Acrelec Group S.A.S.、除外 1社（社名）—

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	63,638,210株	2020年3月期	63,638,210株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,866,029株	2020年3月期	2,866,029株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	60,438,865株	2020年3月期1Q	60,403,343株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2021年3月期第1四半期 320,701株、2020年3月期 341,500株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により極めて厳しい状況が継続いたしました。欧米では、6月以降は経済活動の再開が段階的に進められるなど景気の下げ止まりの動きが見られました。アジアでも、中国においては景気持直しの動きが継続いたしました。全体としては厳しい状況が続きました。また、わが国経済におきましても、緊急事態宣言発令の影響等により個人消費の減少や企業活動が著しく制限されるなど、景気は急速に悪化いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の最終年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」の3方針の下、事業展開を行ってまいりました。

海外市場においては、中国では、新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響を最小限に留めることができたが、欧米では、主要都市のロックダウンの影響により事業活動に大きな制約を受けました。

国内市場においては、緊急事態宣言発令の影響等により、金融市場及び流通・交通市場では、商談の延伸やお客様のご意向により納品ができない状況も発生いたしました。また、遊技市場では、ホールの休業により営業活動の中断を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、38,077百万円（前年同期比 22.4%減）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、21,854百万円（前年同期比 30.4%減）、保守売上高は、16,223百万円（前年同期比8.1%減）でありました。利益につきましては、売上高の減少により営業損益は、972百万円の損失（前年同期は営業利益 3,171百万円）、経常損益は、919百万円の損失（前年同期は経常利益 2,738百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損益は、1,555百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益 1,545百万円）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

(金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,829百万円（前年同期比 9.1%減）、営業利益は、176百万円（前年同期比 40.5%減）となりました。

(流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」及び「券売機」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,542百万円（前年同期比 23.8%減）、営業利益は、268百万円（前年同期比 82.5%減）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」及びホール向け「賞品保管機」などの販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、2,262百万円（前年同期比 56.7%減）、営業損益は、316百万円の損失（前年同期は営業利益 702百万円）となりました。

(海外市場)

米国・欧州では、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」及び流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売が低調でありました。また、アジアにおいては、「紙幣入金整理機<UWシリーズ>」の販売が好調でありました。一方、OEM製品であるATM用「紙幣入出金ユニット」の販売は堅調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、17,866百万円（前年同期比 17.1%減）、営業損益は、402百万円の損失（前年同期は営業利益 1,246百万円）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、576百万円（前年同期比 50.4%減）、営業損益は、698百万円の損失（前年同期は営業損失 608百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外、特に欧米主要国における事業活動の本格化には、なお予断を許さない状況ですが、現時点で入手可能な市場動向や販売予測等に基づき2021年3月期の連結業績予想を算定いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました、「2021年3月期 連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,532	49,630
受取手形及び売掛金	49,603	40,839
電子記録債権	1,617	1,425
有価証券	2,051	2,050
商品及び製品	31,053	37,161
仕掛品	7,989	8,590
原材料及び貯蔵品	12,639	14,684
その他	5,577	8,070
貸倒引当金	△656	△905
流動資産合計	181,408	161,546
固定資産		
有形固定資産	38,503	39,310
無形固定資産		
顧客関係資産	17,968	17,418
のれん	43,246	60,235
その他	6,699	7,213
無形固定資産合計	67,915	84,867
投資その他の資産		
投資有価証券	8,352	9,895
その他	12,608	12,525
貸倒引当金	△25	△41
投資その他の資産合計	20,935	22,380
固定資産合計	127,354	146,557
資産合計	308,763	308,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,346	10,094
電子記録債務	7,154	6,552
短期借入金	24,931	21,161
1年内返済予定の長期借入金	20	20
未払法人税等	1,520	1,138
賞与引当金	7,088	3,428
役員賞与引当金	109	28
株式付与引当金	39	20
その他	33,412	37,537
流動負債合計	85,623	79,981
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	46	4,408
株式付与引当金	260	277
退職給付に係る負債	3,243	3,250
その他	12,445	22,388
固定負債合計	35,996	50,325
負債合計	121,620	130,307

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	15,961	10,880
利益剰余金	163,070	159,448
自己株式	△9,312	△9,250
株主資本合計	182,611	173,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△455	△60
為替換算調整勘定	5,194	4,317
退職給付に係る調整累計額	△2,154	△2,066
その他の包括利益累計額合計	2,584	2,189
非支配株主持分	1,946	1,635
純資産合計	187,143	177,797
負債純資産合計	308,763	308,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	49,076	38,077
売上原価	28,983	23,364
売上総利益	20,093	14,712
販売費及び一般管理費	16,921	15,685
営業利益又は営業損失(△)	3,171	△972
営業外収益		
受取利息	51	56
受取配当金	82	86
為替差益	—	27
受取保険金	—	62
その他	52	61
営業外収益合計	186	295
営業外費用		
支払利息	202	122
為替差損	272	—
持分法による投資損失	103	70
その他	41	48
営業外費用合計	619	242
経常利益又は経常損失(△)	2,738	△919
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	11	4
投資有価証券評価損	48	178
特別損失合計	59	182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,679	△1,099
法人税等	741	278
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,938	△1,378
非支配株主に帰属する四半期純利益	393	176
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,545	△1,555

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,938	△1,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248	384
為替換算調整勘定	△2,429	△900
退職給付に係る調整額	34	87
持分法適用会社に対する持分相当額	4	9
その他の包括利益合計	△2,638	△418
四半期包括利益	△699	△1,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,037	△1,915
非支配株主に係る四半期包括利益	337	118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社であるGlory Global Solutions (International) Ltd.は、Acrelec Group S.A.S.の非支配株主に対して、子会社株式の売建プット・オプションを付与しております。当該売建プット・オプションについては、その他の固定負債として認識するとともに、資本剰余金を減少させております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が5,080百万円減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、Acrelec Group S.A.S.の発行済株式の80%を取得したことに伴い、同社の子会社を含む31社を連結の範囲に含め、2社を持分法適用の範囲に含めております。なお、Acrelec Group S.A.S.は、当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大が上半期頃までに収束するとの仮定に基づき、たな卸資産の評価、投資の減損、のれんの減損等の会計上の見積りを行っております。なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,617	12,531	5,224	21,541	47,915	1,161	49,076	—	49,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,617	12,531	5,224	21,541	47,915	1,161	49,076	—	49,076
セグメント損益	297	1,532	702	1,246	3,779	△608	3,171	—	3,171

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,829	9,542	2,262	17,866	37,501	576	38,077	—	38,077
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,829	9,542	2,262	17,866	37,501	576	38,077	—	38,077
セグメント損益	176	268	△316	△402	△273	△698	△972	—	△972

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と一致しております。